

競技に関する注意事項

1 競技会全般に関して

1. 本大会は 2024 年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会申し合わせ事項により実施する。また、競技者は日本陸連「競技会における広告及び展示物に関する規定」を適用し、違反する場合は注意を行う。本大会のスタート動作における競技規則は、国内ルールを適用する。
2. 各団体代表者(学校については引率教員)は、競技の招集開始時刻までに受付を済ませておく(受付がない場合、競技者は競技に出場できない)。
3. 招集所、招集時間について
 - (1) 招集所は、1 階正面玄関ウッドデッキに設ける。
 - (2) 招集時間は、タイムテーブルに記載されている時間とする。出場種目が重複し、競技中に招集時間が設定されている場合は、最初の招集の際に申し出る。
 - (3) 招集が完了した後、スタート 10 分前にはスタート地点及び競技場所に集合すること。
4. 事故・怪我の発生について
主催者は、競技会中やウォーミングアップ中などに発生した事故・怪我について、応急手当は行うがその責任を一切負わない。
5. ウォーミングアップについて
 - (1) 本競技場
本競技場内でのウォーミングアップは競技および運営に支障のない範囲で行うことができる。朝のウォーミングアップについては、準備が完了した後、第 1 種目開始 15 分前まで行うことができる。その際、ホームストレート 6～9 レーンはハードルを設置するので、十分注意して練習すること。
 - (2) ウォーミングアップ場 [野球場]
 - ① 終了時刻は最終種目招集開始時刻までとする。
 - ② 跳躍練習、投擲練習、スパイクを利用した練習は実施できない。
 - ③ 他人の怪我につながる可能性のある行為はしない。
 - (3) 施設内のジョギングコースなどについて 他の利用者や通行車両などに迷惑をかける行為は行わない。また、事故が無いように注意する。
6. 施設設備の使用について
 - (1) 競技場開門時間は 8 時とする。
 - (2) 競技場周辺施設や通路を控え場所として使用しない。
 - (3) 今大会では競技終了後の清掃当番をおかない。各自で出したごみは必ず持ち帰ること。近隣のゴミ箱等に捨てることはしない。
7. 写真及びビデオ撮影について
 - (1) 個人及び保護者の了承がない撮影を禁止する。
 - (2) 下記のエリアを撮影禁止とする。
 - ・グラウンドレベルでの撮影
 - ・各種目のスタート後方
 - ・三段跳の助走後方と着地前方
 - (3) スターティングブロックの足合わせを行っている間や試技を待っている間、身体を動かしている間など競技の準備を行っているときは撮影禁止とする。

(4) 他者に著しく迷惑をかける行為と主催者が判断する場合は、速やかに警察及び関係機関に連絡をする。

(5) コーチングエリアは設けない。コーチは(1)～(3)を厳守し、競技規則に合わせた行動をとる。

2 競技に関して

1. アスリートビブス（ナンバーカード）について

(1)ユニフォームの胸、背に確実につける。ただし跳躍競技は、胸または背につけるだけでもよい。

(2)トラック競技は、招集時にレーンナンバーによる「腰ナンバーカード」を貸与する。ランニングパンツの右横や後方に、明確に数字が読めるようにつける。

(3)腰ナンバーカードは、フィニッシュ後直ちに係員に返却する。

2. 競技について

(1)トラック競技の走路順・フィールド競技順は、プログラム記載順とする。男女円盤投については、当日の団体受付にて配布する。

(2)競技者の変更は一切認めない。

(3)400m までのトラック競技では、フィニッシュした後も他の競技者の安全確保のために、自分に割り当てられたレーン(曲走路)で減速し止まる。

(4)ハードルの規格は以下のとおりとする。

	高さ	台数	スタート～1 台目	ハードル間	10 台目～フィニッシュ
男子 110mH(0.914m/9.14m)	91.4cm	10 台	13.72m	9.14m	14.02m
女子 100mH(0.762m/8.00m)	76.2cm	10 台	13.00m	8.00m	15.00m

(5)フィールド競技については以下の通り行う。

①長さを競う種目の試技は3回とする。

②三段跳で助走路に使用できるマーカーは、主催者が用意したマーカー2個までとする。

③三段跳の踏切板は9mで行う。

④三段跳は1ピット使用して行う。

(6)記録の掲示は事務所入り口付近で行う。上位者のアナウンス発表も併せて行う。

(7)競技者は、勝手に競技場所を離れることやTR6.3.2で禁止されたビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD・トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内で所持、または使用することができない。

(8)不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技から除外される。警告は黄色のカード、除外は赤色のカードを示すことによって競技者に知らされる。

3. 競技用靴について

(1) 競技に使用できる競技用靴の靴底の厚さは、次の表に示すとおりとする。規格に合うもので競技を行うこと。ただし、フィールド種目については本規定を適用せず実施する。記録は国内の公認記録として認められるが、WA への申請は行わず、国際競技会への参加資格として採用できない。

種目	ソールの最大の厚さ	補足
800m 未満のトラック種目	20mm	
800m 以上のトラック種目	25mm	
フィールド種目 (三段跳除く)	20mm	競技者の前の部分の中心点のソールの厚さは、競技者のかかとの中心点のソールの厚さを越えてはならない。
三段跳	25mm	

- (2) 審判長の判断により、競技終了後に靴底の厚さを計測することがある。計測の結果、違反が認められた場合はその競技者を失格とする。
- (3) 全天候走路なので、トラック・フィールド共スパイクのピンの長さは 9mm 以下とする。ジャベリックスローは 12mm 以下とする。いずれの場合も本数は 11 本以内とする。
- (4) 400m までのトラック競技では、フィニッシュした後も他の競技者の安全確保のために、自分に割り当てられたレーン(曲走路)で減速し止まる。

4. 表彰について

- (1) 男子円盤投、女子円盤投に関しては 1 位に賞状と選手権賞、2 位と 3 位には賞状を授与する。
- (2) 本部前にて表彰式を行うため、入賞者は成績発表後、速やかに本部へ来ること。

5. 競技器具について

原則として競技場備え付けのものを使用する。

6. 愛知県中学校陸上競技選手権大会への出場について

本大会で円盤投 7 位までに入った者は愛知県中学校陸上競技選手権大会に出場することができる。
令和 6 年度第 78 回愛知県中学校総合体育大会実施要項を確認し、各校で申し込みを行う。

3 その他

1. スタンドへの出入り口はスタンドに 1 か所設置する。開門時刻は 8 時とする。
2. 各団体の控え席や待機場所は、スタンド以外の競技場内に設置できない。
3. プログラム記載の氏名や所属等に訂正があれば、学校受付後、本部に申し出る。
4. 応急処置を必要とする事故が生じたときは、本部席において処置を行う。
なお、応急処置後の治療は、本人負担とする。
5. 貴重品は各自で保管する。万一の事故があっても責任は負わない。